

■ 「司書・司書補講習60周年記念企画展示」への道 ①

～エクステンションセンター沿革作成編 @学院史料室書庫

2020. 6. 25

桃山学院大学開学の翌年 1960 年にスタートした司書・司書補講習は、今年で60周年を迎えることになりました。12月から始まる講習期間には60周年記念の企画展示も予定しています。桃大の社会教育・生涯学習の歴史の中では最も長い司書講習の歩みを振り返るなかで、エクステンション・センター(以下、エクテン)の歴史を辿れるようにホームページ用の沿革作成にも一歩踏み出しました。

実のところ、エクテンの沿革を作る直接のきっかけは、経営学部の授業「まちをビジネスする」で、授業資料の作成を依頼されたことでした(「エクテンたより」6月3日を参照)。

コロナウィルス感染症が拡大した4月、在宅勤務の時間を授業資料の作成に充てることが出来ました。桃大の社会教育・生涯学習の歴史にじっくり向き合うことは、通常業務ではまず出来なかったこと。コロナ禍の中であって、「禍福はあざなえる縄のごとし」なのかも知れません。

とはいえ、エクテンは桃大の社会教育の歴史の中では、まだ若く(エクテンの前身は社会教育センターですが、昭和町から和泉市への桃大キャンパス移転に伴って 1997 年に新たに名称変更してスタートしました)事務室に保管されている資料だけでは、とても全貌を見渡すことが出来ませんでした。そこで学院史料室※の玉置さんに尋ねると「聖アンデレ館の部屋にありますよ。見てみます?」とのこと、二つ返事で見せて頂くことになりました。

昭和町の校舎から引っ越してきた資料のうち、学院資料室の事務室に収まりきらなかった資料は、6か所に点在しているということで、案内された部屋(書庫)も膨大な資料で埋め尽くされていました。

そのうち書架一つ分が目当ての資料です。1970 年代の公開講座、司書講習の古い授業資料など、歴史の空白を埋める資料タイトルを見るだけでワクワクが止まりません…。とは言え、丸一日かけてもとても目を通すことの出来ない量。この日は資料のタイトルだけを写して引き上げることにしました。

➡「司書講習60周年記念企画展示」への道②に続く…

※学院史料室について…[ホームページ](#) [Facebook](#) をご参照ください



▲学院史料室の玉置さん



▲昭和 36 年(1961)司書・司書補
受講生アルバム